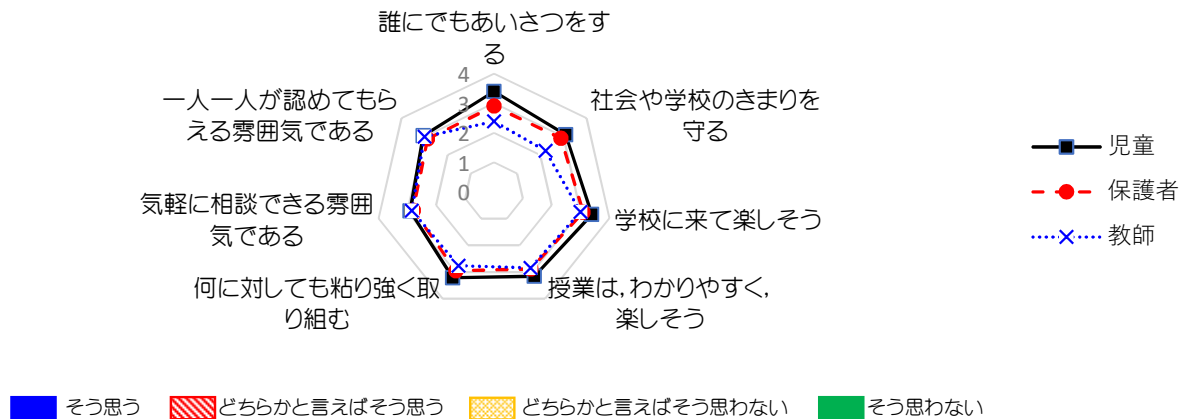


平成28年度 学校評価結果

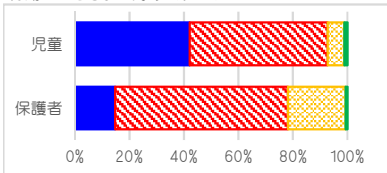
1 学校全体の概要



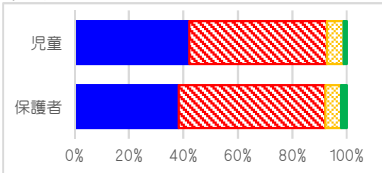
2 児童及び保護者の評価

(1) 豊かな心の育成

学校は、いじめをしない、許さないなど、正しい判断や行動ができるよう努めていますか



学校は、あいさつや返事ができる児童を育てようとしていますか

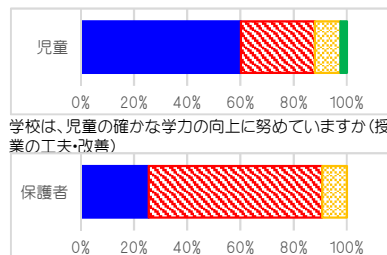


○対策

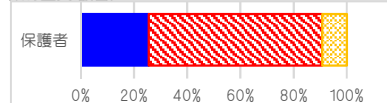
- 道徳の学習を基本とし、すべての教育活動で自分のこと、周りの人のことを大切に考え、行動する子どもを育てていかなければならない。そのためには、現状をさらに良くしようという気持ちを切り替えたり、向上させたりする機会が必要である。
- 挨拶や掃除など、学校内で頑張っている姿を保護者に見てもらったり、家庭でも取り組むように児童自身にうながす。
- 「学校では名札を付ける」「挨拶や返事を大きな声でする」「提出物は必ず出す」といった学校と家庭の簡単な共通した取組を実施する。「だいたいできる」と「できる」の違いを明確にして、できるまでさせる。
- 帰りの会等で、3つの行いのふり返しを行い、できているところはほめ、できていないところは次の日の目標にするなど、意識できるようにしていく。

(2) 確かな学力の育成

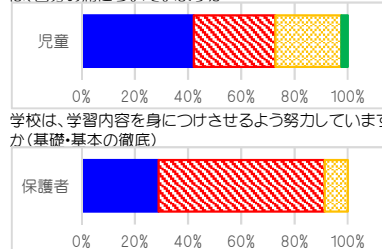
宿題など家庭学習は、毎日できていますか



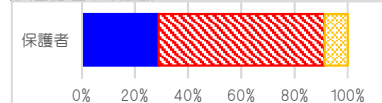
学校は、児童の確かな学力の向上に努めていますか (授業の工夫・改善)



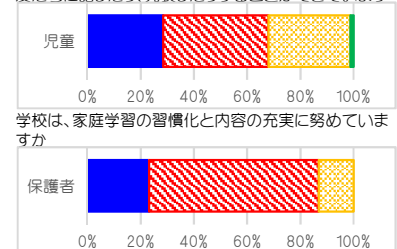
時間をまもって、授業がはじまるチャイムがなるときには、自分の席についていますか



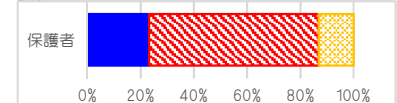
学校は、学習内容を身につけさせるよう努力していますか (基礎・基本の徹底)



授業では、かんがえたことや思ったことなどを先生や友だちに話したり、発表したりすることができていますか



学校は、家庭学習の習慣化と内容の充実にも努めていますか

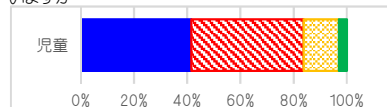


○対策

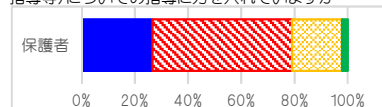
- 学校と家庭と共通理解のもとで取り組む必要があることを伝え、家庭学習には必ず目を通していただくようにする。
- 「話を聞く時は手は膝に置く」や「机の上には〇〇だけ」など簡単なことでよいので、全学年で同じ指導ができるようにする。
- 児童に合った方法を研究して指導にあたる。
- 家庭学習の内容は、年度初めの学級懇談会の際に細かく伝えていく必要がある。

(3) 健康な体の育成

けがや病気に注意し、安全でおちついた生活ができていますか



学校は、児童の安全な生活 (交通指導や登下校の安全指導等) についての指導に力を入れていますか

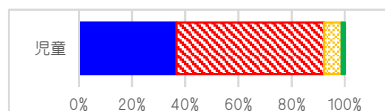


○対策

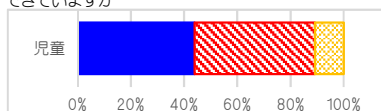
- 下校指導…地域の方々にも協力依頼をし、児童の下校時刻にあわせて家の前に立っていただく等の取組をする。
- 登校班で登校することを徹底する。年度初めに文書等でお知らせする。自転車の運転や、交通ルールなど、「だいたいできる」では危険なことを学ばせる。徹底させる。
- 登校中の安全については、地区児童会や学級で繰り返し指導していく必要があり、児童に正しい登下校の仕方を話したり練習させたりし、意識させる必要がある。また、交通指導員の方や地域の方に引き続き見守っていただきたい。

(4) その他(児童の評価)

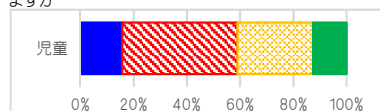
毎日の勉強はよくわかりますか



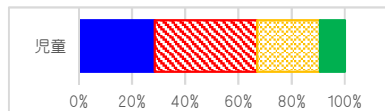
先生の注意をしっかりと聞いて、素直に反省をすることができていますか



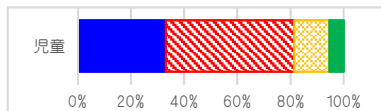
困(こま)ったことがあったら、先生には何でも相談できますか



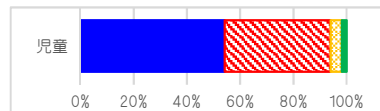
友だちに「くん」「さん」をつけていますか



正しい言葉づかいで、先生や友だちと話していますか



学校や学級、地域のもを大切にしていますか

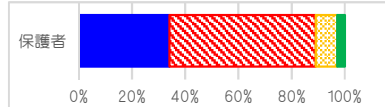


○対策

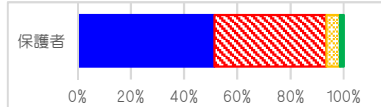
○学級の全児童と1日1回は言葉を交わすよう意識して取り組み、もっと先生を身近に感じてもらえるように努力する必要がある。児童の言葉や態度に耳を傾けたり観察したりして、正しいこと間違ったことを、曖昧な言葉でなく、児童に分かるように伝えられるようにしていく必要がある。

(5) その他(保護者の評価)

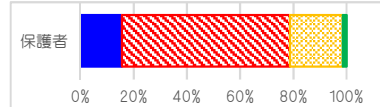
学校は、保護者や地域に学校や児童の様子を知らせ、情報提供に努めていますか



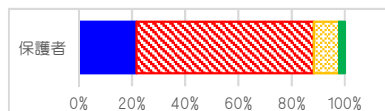
学校の職員は、来客、電話や相談にたいへんに対応するよう努めていますか



PTA活動に積極的に参加していますか



今の木上小学校に満足していますか



○校長先生をはじめ全ての先生の雰囲気がよい。

○何か問題があって相談したとき、すぐに対応してもらっている。

○学力が身に付いてきた。進んであいさつをするようになった。敬語で話さようになった。

△職員へ電話連絡した際、その後どのように対応したかなどの連絡がない。

△帽子を取ってあいさつをする子ども達が少ない。ふざけている子ども達が多い。

△以前は帽子を脱いであいさつをする子どもが多かったが、今はあまりみられない。これは家庭での指導であると思います。

△登校中のほとんどの子どもが下を向いて歩いている。こちらから大きな声であいさつしても小さな声で返事が返ってくる。

○対策

○学級便りで保護者とのやりとりを載せる欄を設ける。分かっている行事等は、できるだけ早めに連絡をする。一つの連絡方法だけでなく、同じ内容でも繰り返すいろいろな方法でお知らせしていくことで、周知徹底できると考える。多くの保護者の方が学校に来る機会を作ること、学校のことを知っていただく。

○学校ホームページのさらなる充実や学校便りのメール配信等のICTの効果的な活用を推進する。

○学校での生活の様子などを、プリント等でできるだけ発信するようにする。お知らせの方法について、おたよりの書き方や伝え方を工夫していく必要がある。通信等を使って、学校での様子を分かりやすく伝えていく。

○保護者から相談を受けたことは、職員間で共有し、速やかに対応し、またその後の経過などもお知らせしていく必要がある。

(1) 豊かな心の育成

・高学年になるにつれて、授業を受ける態度や姿勢が良くなっている。先日学習発表会でも他の学年の発表をしっかりと聞くことができていた。

・あいさつについては、保護者の評価はあまり良くなかったが、自分が地域で会うときはしっかりとあいさつができていた。今日も、廊下で立ち止まってあいさつができていた児童がいた。

・しつけについては、学校任せにするのではなく、家庭でもしっかりとしていかなければならない。児童の1番身近な手本は保護者である。

・いじめの事案についてはどうなっているか。→どの学年でも、いつでも起きるという考えで、学校総体で対応している。長期化、深刻化する前に初期対応をしっかりと行うように心掛けている。

(2) 確かな学力の育成

・学習指導においては、それぞれの先生が、児童一人一人の実態を把握し、しっかりと対応していただいている。教育支援員の先生方も入っていただいているので複数の目で児童を見てサポートをして頂いているのが良い。

・午後からは児童の活動が多く取り入れられている教科・領域等にするなど、児童が集中できるように時間割が工夫されていた。

(3) 健康な体の育成

・インフルエンザの発生状況はどうか。→本校では、学級閉鎖になるような状況にはなっていない。今後も、しっかりと対応していく。

(4) 開かれた学校づくり

・本年度は、学習発表会で羅生門踊りがあり、その取組の中で、青年団や地域との交流がされて、大変よかった。今後も、発表の場を増やすなど取組を充実させてほしい。

・学習発表会は、木上文化祭となっていたが、作品を出される人が少なかった。区長会で周知するなど地域の力を活用した方が良い。→来年度、熊本版コミュニティスクールの導入を考えている。この仕組みを活用して、保護者や地域と連携した取組になるようにしていきたい。